



2024,12,09

No. 136

要員不足は人事施策の失敗、職場で発生する課題解決と

2025 春闘勝利に向け職場から運動を創り出そう! 輸送サービス労組全機関役員会議開催

2024年12月6日(金) 滝野川会館

輸送サービス労組は12月6日全機関役員会議を開催、職場で発生する問題とその根拠を確定し克服に向けてJTSU-E2025“春”をすべての仲間と創り出す運動方針を確認してきました。「あらゆる系統で発生している要員不足問題はこの間の人事施策の失敗であり経営責任である」を明らかにした上で経営の問題と位置付けて2025春闘の運動課題として創り出していきます。

◆◆全体討論で明らかになった各職場の実態◆◆

- ① 現場の工夫で波動要員を生み出しても他駅へ派遣されてしまう
- ② とうとう主駅勤務者以外で1日の出面が組まれてしまった
- ③ 乗務線区にも関わらず、訓練計画が組めず全ての車掌が特急に乗務する事ができない
- ④ 要員不足で養成できない、予備者すらいらない
- ⑤ 本社出向・育休・産休…制度を作るなら対応できる要員が必要だ
- ⑥ 旅行アプリを使用する外国人旅行者とのトラブル対応に苦慮している
- ⑦ 11月勤務が25日に発表されなかった。勤務作成者のスキル不足は言い訳にならない
- ⑧ 年休取得者を勤務指定して勤務発表、当日は日勤者や副長の下位職代行で補う
- ⑨ 休日明示が無通告で変更され、何も言わなければ泣き寝入り
- ⑩ 月間超勤45時間超え発生、月末にまとめて超勤入力するから管理できていない
- ⑪ 勤務自体ブラックボックス化したことでやりたい放題
- ⑫ インバウンド対策が中途半端、富士回遊車内では外国人も車掌も戸惑っている
- ⑬ 大月駅の列車分離、会社は駅構内だから分離ではないと説明、危機感が希薄
- ⑭ 本来業務より樹木の伐採作業に追われている

労働組合が声を上げないと変わらない現実 全ての仲間の力で健全な企業を取り戻そう!